

6つの観点と5つのキーワードで取り組む！

～働き方改革モデル校実践アイデア事例集～

今、日本の社会全体で働き方改革が進められています。学校現場でも長時間労働が深刻な課題となっており、その取組は待ったなしの状況です。

働き方改革は、これまでの取組を否定するものではありません。長い間に積み重なり肥大化した様々な業務を見直し、スリム化しようという取組です。それには、学習指導や生徒指導など、「子どもたちにとって真に必要なものは何か」という視点と「業務の優先順位付け」が重要となります。

働き方改革モデル校の取組を参考に、学校の状況に応じた取組を進めていきましょう。

働き方改革を進める6つの観点(働き方改革モデル校の取組より)

- | | | |
|-----------|----------------|-----------|
| ①業務の効率化 | ②職場環境の見直し | ③学校行事の見直し |
| ④教職員の意識改革 | ⑤コミュニケーションの活性化 | ⑥外部人材の活用 |

業務の見直しを考える5つのキーワード

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| ㊦あわせる…統合 | ㊧ずてる…廃止 | ㊨かんたんにする…簡略化 |
| ㊩んたんする…分担・共有 | ㊪たよる・たのむ…連携・外部委託 | |

※学校行事だけでなく、会議の見直しなどにも当てはまるものです。

<働き方改革モデル校の取組の成果>

1 児童生徒への好影響→教育の質の向上！

- ・生み出された時間を授業準備や学級経営に活用し、子どもと向き合う時間が増加
- ・時間制約がある教員からの働きかけで、児童生徒が計画的に物事を進める力の定着を実感
- ・時間の有効活用の意識付けで、児童生徒が「集中力」や「切り替える力」の向上を実感

2 時間外業務の縮減

- ・中学校・・・12月の時間外業務が11～14%縮減(前年度同月比)

3 教職員の意識改革

- ・タイムマネジメント力の向上、働き方改革の取組への参画意識の醸成
- ・終わりの時間を意識した仕事の進め方の定着とそれに向けた準備

4 教職員の自主的・自発的な活動の増加

- ・職場環境改善や理想とする働き方の実現に向けたアイデアの提案
- ・ミドルリーダーを中心とした企画力の向上

5 効率的・快適・創造的な職場環境の実現

- ・ものを探す時間の短縮、協議スペースの確保

6 同僚性の向上

- ・コミュニケーションの向上
(周囲への声かけ、業務の役割分担、仕事外の目標の共有…)

働き方改革で、たくさんの成果が出るんだね。



さあ、モデル校の取組を見てみようよ。

協力・資料提供

【平成29年度働き方改革モデル校】

笠岡市立大井小学校、高梁市立高梁小学校、浅口市立鴨方東小学校

【平成30年度働き方改革モデル校】

玉野市立八浜中学校、勝央町立勝央中学校、県立興陽高等学校

県立岡山南支援学校



①業務の効率化【会議の見直し（勝央中）】

自分たちで「ルール」をつくり、受け身の会議から、生産性の高い議論の場に！

【取組】

- ・推進組織で、会議のルールを策定

- ① 時間の見直しをもつ（例：議題1に□分、2に△分）
- ② 内容・意図を確認する（例：議題1～5は報告、6～8は協議）
- ③ 設定時間が来た時の選択をする（例：〇分まで延長、次回に持ち越し）
- ④ 役割分担をする（タイムキーパー、ホワイトボード書記等）
- ⑤ 資料を事前配付し、一読して参加する（配付は、会議前日までに）
※ルールは、運用しながら適宜、修正可能とする

【効果】

- ・議題の内容や意図が明確となり、協議がより活発になった。
- ・発言者がポイントを絞り、伝え方を工夫することで、会議の時間短縮につながった。

②職場環境の見直し【教材室の整備、ルール設定（興陽高）】

自分たちのアイデアと力で、快適な職場環境をつくる



【取組】

- ・空き教室を利用し、教材の保管や採点等の集中業務ができる環境を整備
- ・文房具棚の整理と印刷室の動線の見直し



協議・採点スペース



文房具棚の整理

教材室使用上の七箇条

- 1 私物置き場にしない。
- 2 個人情報にあたる物を保管しない。
- 3 不在時は常に施錠する。
- 4 机上に物を置いたままにしない。
- 5 ゴミはその都度持ち帰りを。
- 6 生徒の入室は認めない。
- 7 使用後は整理整頓を。

平成30年11月
働き方改革検討委員会

教材室利用ルール

【効果】

- ・作業スペースの拡大、文房具棚の整理や整頓によるモノを探す時間の削減、機能性の向上

③学校行事の見直し

- ・目的の再確認: その行事は何のためにするのか
- ・規模(準備を含めた日数、人数、時間等)の再検討: 目的達成に必要な規模は？



あ【PTA行事の見直し…夏祭りとバザーの統合（岡山南支援）】

■取組

- ・夏祭り（7月）とバザー（10月）を同一日に実施

■見込まれる効果

- ・行事の統合により、参加者数の増加が期待

Point!!

- ・校内で、統合のメリットとデメリットを検討
- ・PTA役員会での丁寧な説明

す【放課後水泳指導の廃止（高梁小）】

■取組

- ・地区水泳記録会に向けた1学期末の放課後指導を廃止
- ・体育を午後の2単位時間連続実施し、練習時間を確保

■効果

- ・児童の下校時刻が統一され、下校時の安全性が向上
- ・参加標準記録を突破しての記録会出場者が増加（前年度比2.5倍）

Point!!

- ・前年度の実施回数（5回）を確認するなど、数値を示し削減を検討
- ・短時間で効果的かつ効率的な指導に向けた指導方法の工夫

か【水曜日の清掃活動の簡略化（八浜中）】

■取組

- ・毎週水曜日の清掃を簡易清掃（自教室のゴミ拾い）に変更（通常時より15分の時間短縮）
- ・当日を部活動休養日に設定し、教材研究や分掌業務等の時間を確保

■効果

- ・取組開始前と比べ、水曜日の月当たり時間外業務時間が減少（一人最大約1時間）

Point!!

- ・時間を意識した働き方の定着（退校時刻の自己申告ボード設置等）
- ・定時に帰るための環境整備（簡易清掃、部活動休養日）

ふ【放課後サポート学習における学習支援コーディネーターの活用（勝央中）】

■取組

- ・学校図書館司書スタッフに「学習支援コーディネーター」を兼務
- ・地域連携担当（教員）を中心に、学習支援コーディネーターが地域ボランティアと連携する体制を確立
- ・地域ボランティアや支援員（水曜日サポートスタッフ）を中心とした学習支援

■効果

- ・放課後サポート学習に参加する生徒が増加
- ・放課後サポート学習への参加スタッフ15名（前年度比4名増加）

Point!!

- ・役割の明確化（外部人材と学校とをつなぐのはだれか）
- ・限られた人材の有効活用
- ・実働組織の編成

た【地域人材と連携した学校支援（鴨方東小）】

■取組 業務の精選と地域への移行（地域学校協働本部による学校支援）

地域主体の行事へ移行



とんどまつり

地域学校協働本部の活動（主なもの）



校内パトロール



環境整備



体育館ワックスかけ

■効果

- ・子どもを見る目が増加（安全・安心）
- ・個に応じた指導の充実
- ・教職員の時間的、精神的余裕
- ・地域住民の学校への関心の高まり

④教職員の意識改革

時間を意識したり、優先順位をつけたりすることで、仕事の質が向上！

■自動応答機能付き電話(留守番電話)の導入(平成31年3月現在、県立学校と12市町で導入。うち7市町は全校導入)

【目的】

- ・時間を意識した働き方の実践、勤務時間外業務の集中力向上

【設定時刻(例)】

- ・平日：18:00～翌朝7:30
- ・週休日、休日：終日

【効果】

- ・折り返しの電話を待つ必要がなくなり、早く退校できるようになった。
- ・保護者や地域の方が、学校の電話がつながる時間にかけてくれるようになった。
- ・電話が鳴らないので、集中して業務を行えるようになった。



■退校時刻の自己申告ボードの設置(大井小)

【目的】

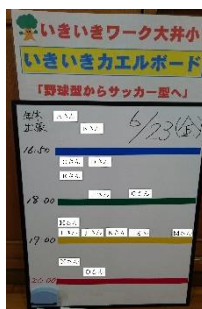
- ・時間を意識した働き方の実践

【取組】

- ・出勤時、ボードを活用して退校時刻を申告

【効果】

- ・退校時刻から逆算して、仕事をする内容や順番を考えるようになった(教諭)。
- ・業務の偏りが見える化でき、業務の平準化につながった(管理職)。



Point!!

- ・設置場所が重要！
(職員室入口等、必ず通る場所に設置)
 - ・退校時に外す！
(毎日振り返る。貼りっぱなしはNG)
 - ・学年団等で声かけ！
(申告時刻が近づいたら声かけ等)
- ←働き方改革のキャッチフレーズを日々確認できるカエルボード

詳しくは、教職員課HPへ

岡山県教委 働き方改革 検索

⑤コミュニケーションの活性化

- ・多様な意見を集めるための工夫：意見箱(名称：K I Cボックス)の設置(興陽高)
- ・情報共有の効率化：職員朝礼の縮減と打合せ時間の確保(岡山南支援)等を実施

⑥外部人材の活用

- ・県教委事業の活用
(教師業務アシスタント、部活動指導員、ICT支援員、特別支援教育支援員等)
- ・県総合教育センターの活用(カリキュラムサポート、学校力向上サポートキャラバン等)

☆まだまだあります「あすかぶた」☆…県内公立学校の取組事例

あわせる

- ・単学年(学部)行事を複数学年(学部)合同で実施(小・特)
- ・講演会を統合し、3年に1回実施(高)

すてる

- ・市主催行事(陸上記録会、音楽会、ソフトボール大会)(小)
- ・春の遠足(小)
- ・1学期中間テスト(中・高)
- ・スキー学習、球技大会、卒業生を送る会、学習合宿(高)

かんたんにする

- ・運動会の入場行進や学芸会の予行演習廃止、儀式的行事の式次第見直し(小・中・特)
- ・保育園や幼稚園との交流会の回数削減(小)
- ・中学校対象説明会の回数削減、校内での実施(高)
- ・中学部現場実習を職場見学と体験に縮減(特)

ぶんたんする

- ・夏休み中の学習教室の運営を、各町内会の集会所で地域ボランティア主体で実施(小)

たよる

- ・学校閉庁期間中の動植物の管理を地域のボランティアに依頼(小)
- ・遠足を地域主体での運営に変更(小)
- ・PTA総会を土曜日から平日に変更(高)

